

9月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん		11,477	100	11,678	126	83	105	0	0.0	北海道、青森産中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道は干ばつ、台風11号の影響で入荷がやや伸び悩むも、大きなダメージなく、青森も過不足なく入荷順調の見込み。入荷量は前年並み、価格は前年比安だが平年並みの見込み。
はくさい		9,104	100	8,452	99	81	89	0	0.0	長野産中心で全体の約9割を占める。干ばつ続きだった長野産は一転して台風11号の降雨、盆前の大雨に見舞われたが影響度は地域によりまちまち。入荷量は前年並み。業務需要も安定しており、消費本格化にはまだ早く、価格は前年、平年を下回る見込み。
キャベツ類		14,621	100	15,335	97	88	83	0	0.0	群馬産中心の入荷。群馬が順調入荷の見込みから、全体ではほぼ前年並みの入荷量。価格は前年を下回るが平年並みの見込み。
ねぎ		4,851	98	4,596	300	93	302	467	9.6	青森、北海道、秋田、山形産中心の入荷となる。北海道、山形は生育・入荷順調であるが、青森は天候不順、台風被害の程度は地域により差異があるため、総入荷量は前年をわずかに下回るが、不足感はない。価格は前年・平年を下回る見込み。気温低下とともに消費活発の見込みあり。
きゅうり		7,028	95	7,801	379	87	269	207	2.9	福島、秋田、岩手、群馬、埼玉産が中心。総入荷量は前年を下回り不足感ややあるが、東北産の終盤と関東産の抑制物がかぶる時期もある。価格は平年より高いが高値だった前年を下回る見込み。
トマト		8,062	100	7,868	380	92	387	79	1.0	東北、北海道産は前倒し気味の出荷、夏秋タイプは残量減少。抑制の作柄はほぼ順調。青森県産は8月中旬の大雨の影響大きく、減少を見込むも総入荷量は前年並み。価格は前年、平年を下回る見込み。東北産の減りこみ、関東産の抑制の始まりに合わせ徐々に値上げの展開が予想される。